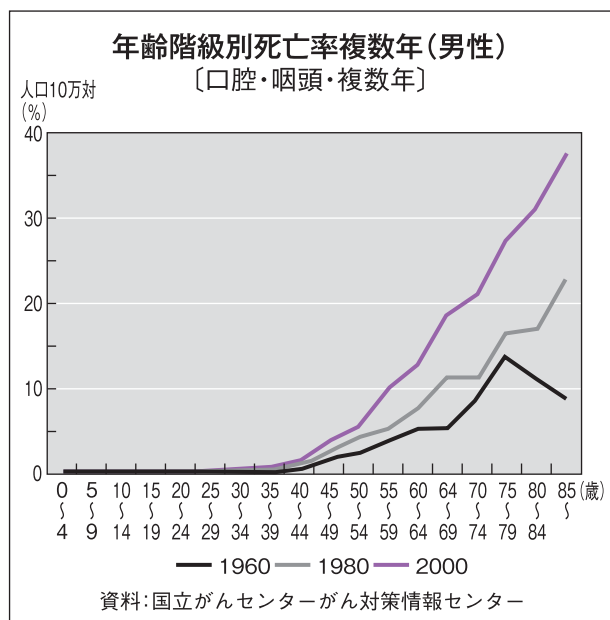


課題を問う

一般質問



質問 町ではさまざまながん検診を実施しているが、がんには胃などの臓器だけではなく、

口の中のできる口腔がんもある。このがんも早期発見が治癒の大きな決め手になるが、胃がんなど

各種がん検診の体制を確立する中で検討します

口腔がん検診の実施を



たか はし しん いち ろう

高橋真一郎 議員

町長 口腔がん検診の早期実施については、現在、県歯科医師会等において検診の実施に向けて協議が進行中ですので、その動向を注目しながら、町民皆様に受診していただく各種がん検診の体制を確立する中で、検討したいと考えています。

のような公的検診制度がない。県内に先んじて口腔がん検診を実施してはどうか。

質問 公用車の中で更新時期がきている車両は多いと思うが、特に町のマイクロバスは交流事業や地区の行事、町の事業など町民の利用頻度は高いと思う。町民が安心して利用できるように早期に更新する考えはあるのか。

町のマイクロバスの更新を
更新時期を検討します

町長 ご質問のマイクロバスは、運行開始後18年を経過しており経年劣化による修繕が増えています。マイクロバスの更新については、その運行状況、経年劣化による車両の状況、安全性などを総合的に判断する中で、更新時期などについて検討していきたいと考えています。



18年を経過した町のマイクロバス



11人が町の

産業廃棄物処分場の現状は

県に皆様の声を伝えます



かん の きよ かず

菅野清一 議員

質問 水質検査や土壌検査など、県の対応をどう考えているのか。

町長 今後とも県に対して、地域の皆様の声を伝えながら、安心、安全が確保されるよう対応していきます。

質問 安定化対策措置命令を受けて町の対応策は。

町長 県は責任ある対応を取っていると思います。

質問 公害防止協定をどのように活かしていくのか。

町長 今後とも協定を拠り所として、県との連携を密にしながら事業者に対して指導していく考えです。



震度5で崩壊の恐れのある処分場土堰堤

質問 地元としては完全撤去を求めているが町の対応は。

町長 地域住民の皆さんの不安を解消し安全な生活が守れるよう、事業者に対し県からの措置命令を完全に履行するよう強く申し入れる考えです。

農産物価格暴落対策は

戸別所得補償モデル対策事業を見定めます

質問 米価をはじめとする農産物価格暴落の対策は。

質問 農業用水路、圃場整備の計画の現状は。

町長 米については、国の戸別所得補償モデル対策の確定状況、交付状況を見定めながら検討していきます。なお、その他の農産物価格については、昨年同等か上回っている状況にあります。

町長 TPPが実施された場合、町の農業への影響は。影響はもとより、その関連産業を含めた地域産業全体に対し、多大な影響を及ぼすものと懸念しています。

町長 維持補修については予算を確保し実施していますが、規模の大きなものについては、県と協議しながら進めている状況にあります。



被害調査をする関係機関



職員が最大限の力を発揮できる体制整備が求められています

”チーム川俣” 「町活かす振興室」は必要

協働のまちづくりを進めます

質問 新しい発想を持つ職員を配置し、「町活かす振興室」設置すべきと思うがどうか。

町長 特定の課、室等に固執せず、職員それぞれが最大限の力を発揮できる体制を整備するとともに、これまで以上に職員が地域に出向き、直接町民の皆様とともに地域の抱える問題、町の現状、政策等について話し合いを深め、協働のまちづくりを進めていきたいと考えます。

質問 交流人口を増やす「観光振興」の方策は。

は。

町長 町内観光スポットを結ぶ回遊ルートの整備や新たな観光資源の発掘、開発、接客サービスの向上などを推進していきたいと考えています。加えて都市部との交流の促進、二地域居住の推進、子どもたちの交流活動や二地域居住体験などの拠点施設としての「小島ふるさと交流館」の活用を今後とも図っていく考えです。

質問 耕作放棄地利用の「農業活性化」策は。

町長 農地の所有者、JA、各種関係団体、機関とも連携をして法改正に伴う農地利用集積円滑化事業制度の利活用と、町施策の耕作放棄地解消

対策事業、そして国事業による耕作放棄地再生利用交付金事業を活用しながら、活性化が図られるよう務めていきます。

さいとうひろみ

齋藤博美 議員

耕作放棄地一覧表

(単位：筆、㎡)

地区	総括		地目別			
			田		畑	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
川俣	52	32,886	2	1,567	50	31,319
鶴沢	215	179,110	7	3,719	208	175,391
小神	181	151,211	8	9,114	173	142,097
東福沢	223	180,409	24	19,899	199	160,510
西福沢	300	259,415	19	22,207	281	237,208
羽田	332	267,244	6	6,886	326	260,358
秋山	493	479,465	43	33,751	450	445,714
小島	219	206,898	17	15,469	202	191,429
飯坂	406	360,797	22	15,518	384	345,279
大綱木	495	409,574	32	19,594	463	389,980
小綱木	464	496,346	37	28,219	427	468,127
山木屋	175	284,914	12	15,609	163	269,305
計	3,555	3,308,269	229	191,552	3,326	3,116,717

(農業及び農村の動向並びに振興に関し講じた施策に関する報告書より)

TPPに反対し 農業と地域経済を守れ

非常に大きな影響が出ると思います



いし かわ きよし

石河 清 議員

町長 多大な影響が出る
と推測しています

質問 環太平洋戦略的経
済連携協定（TPP）
に参加した場合、本
町の農業生産の減少額や
影響をどのように見てい
るのか。

が、農業生産の減少額に
ついては算定する要素が
多く、減少額を算出する
ことは難しいと考えます。
なお、県においても農業
生産の減少額に対する試
算はしないとしておりま
す。



水稲見回り調査のようす（農業共済組合提供）

質問 町長は町農業に甚
大な損失影響を及
ぼすTPPに反対し、町
の農業を守り発展させる
べきと思うがどうか。ま
た3期目の町政執行にあ
たっての農林業の振興施

町長 今年度より国の施
策による「戸別所
得補償モデル対策」が行
われており、過去3年間
の販売価格が下回った場
合は、その差額が交付さ
れることになっています。
差額の確定は平成23年3
月の予定ですので、今後
の確定状況及び交付状況
を注視していきたいと考
えます。

質問 極端に米価が下落
し、農家から悲鳴
と怒りの声があがってい
る。町として1俵あたり
1000円の補助を行う
べきと思うがどうか。

町長 農業の振興につい
ては、生産体制の
更なる強化を図り、安全
安心な農産物づくりの確
立を図っていききたいと考
えています。また林業に
ついては厳しい状況にあ
りますが、山林の持つ多

面的、公益的機能を強化
し、林産物の開発による
新たな地場産品の開発に
ついて取り組んでいきた
いと考えます。なおTPP
が実行されれば、非常
に大きな影響が出ると私
も認識しています。

22年産米の概算金

銘柄名	地区	22年産	21年産	前年比
コシヒカリ	会津	10,000	12,400	▲2,400
	中通り	9,400	12,000	▲2,600
	浜通り	9,300	11,900	▲2,600
ひとめぼれ	会津	8,000	11,900	▲3,900
	中通り	7,900	11,750	▲3,850
	浜通り	7,800	11,600	▲3,800
あきたこまち	全県一律	7,600	11,600	▲4,000
チヨニシキ	全県一律	7,100	11,500	▲4,400
ササニシキ	全県一律	7,800	11,900	▲4,100
ふくみらい	全県一律	7,100	11,500	▲4,400
ミルキーQueen	会津	9,800	12,400	▲2,600
	中通り	9,200	11,900	▲2,700
	浜通り	9,100	11,400	▲2,300
その他	全県一律	6,600	10,800	▲4,200

※1等、60キロ当たり。単位は円。



入所者を介助する職員（川俣光風園）

川俣光風園の改築を

入所者の不安解消に努めます

質問 川俣光風園は昭和27年に町立の養護老人ホームとして開園し、

県北地域の高齢者福祉の中核施設としての役割を果たしてきたが、老朽化

が目立つ現状にある。町議会は光風園を改築した後に運営移譲すべきとの意見書を、福島地方広域行政事務組合に送付したが、最高議決機関である議会の決定を町長はどのように受け止めているのか。

町長 議会が発した意見書については、町としても大変重く受け止めているところです。今後2市3町と連携を密にしながら、入所者の不安解消や安定した養護サービスが提供できるよう努めていきます。



えん どう むね ひろ

遠藤宗弘 議員

質問

光風園で働いている職員は全員解雇になるとのことだが、自治体の都合により労働者を解雇するなどすべきではないと思うがどうか。

町長

現在光風園で働いている職員の皆さんについては退職される形になりますが、雇用を希望される職員の皆さんについては全員雇用される予定で進んでいるところであり、町としても適切な対応をしていると認識しています。

3期目の方針は

町民総参加のまちづくりを進めます



活気あるまちづくりが求められています

質問

3期目に入り、どのような町にしようとしているのか。また町長の考えや方針をどのように職員に伝えていくつもりか。

町長

町民総参加のまちづくりの視点に立ち、町民のための町政の実行という基本姿勢を引

き続き堅持し、第5次川俣町振興計画の将来像、「みんなでつくる、元気いっぱい、笑顔いっぱい」のまち、かわまた」の実現に向けて全力を傾注して取り組んでいく考えです。なお職員については、常に町民の立場に立って業務を遂行するよう、3期目の初登庁時に訓示したところです。

土砂災害は大丈夫か

地山及び沈砂池は安定しています



くろ さわ とし お

黒沢敏雄 議員



土砂災害が心配される新助館跡地

質問

新助館跡地で大雨時に災害を起こさないための対策は。

町長

遺跡調査を行った区域は地山がむき出しの状態ですが、現在

のところは地山及び沈砂池については安定しています。今後は現場の状況を定期的に確認し、土砂災害が起こらないよう対応していきます。

のところは地山及び沈砂池については安定しています。今後は現場の状況を定期的に確認し、土砂災害が起こらないよう対応していきます。

質問

羽田鶴巻地内の小水が用水路に流入している問題について、どのように対応しているのか。

町長

町としては関係者に対し、引き続き理解が得られるよう取り組んでまいります。

用水路に生活排水が流入、

解決はいつ

引き続き理解が得られるよう取り組みます



生活排水への対応が問題となっている住宅団地

有害鳥獣を食用に

実現に向け検討します

質問

福島市などでは食用として認め、販売をも認めていると聞きますが、これからの本町の考えと指導はどのように進めるのか。

町長

有害鳥獣の食用について福島市へ問い合わせをしましたが、福島市としては食用及び販売については、特に認

めてはいないとのことでした。町としては、有害鳥獣として駆除されたイノシシを食用として販売している他市町村の情報を入手するとともに、視察研修等を行い、ご質問の趣旨の利活用が図られるよう検討していきたいと考えます。

川俣町自然体験施設

「おじまふるさと交流館」運営について質す

「運営協議会」「運営委員会」が中心です

質問

運営協議会、運営管理委員会について、どのように構成されるのか。

教育長

交流館運営委員会は、社会教育委員をはじめ小島地区自治会長、こども教育課長、企



おじまふるさと交流館の厨房設備



にい ぜき ぜん ぞう

新関善三 議員

質問

維持費、管理費等の年間経常経費はいくらになるのか。また設計段階で十分検討したのか。

教育長

検討した結果、年間経費は744万円程度になると試算しました。

質問

年間スケジュールは明確に出来ているのか。

教育長

約50種類の体験活動が季節の変化の中で体験できるよう年間計画を作製しています。

質問

宣伝費と方法は、二地域居住とあわせて効率的、効果的な連携は出来ているのか

教育長

パンフレットの作成やホームページの開設と合わせ、二地域居住事業と連携した誘客

活動に努めます。

質問

運営に欠かせないのは企画力、実戦力である。職員は配置するのか。

教育長

1名が常勤しますが、宿泊者数に応じて最大で6名体制の運営を考えています。

質問

宿泊、食事入浴には資格が必要であり、有資格者の配置は万全か。ボランティアの協力をあげているが、具体的にどう進めるのか。

教育長

有資格者の配置も含め、適切に対応していくつもりです。



課題となっている入浴施設（おじまふるさと交流館）

うつ病対策を

特別な取り組みは考えていません

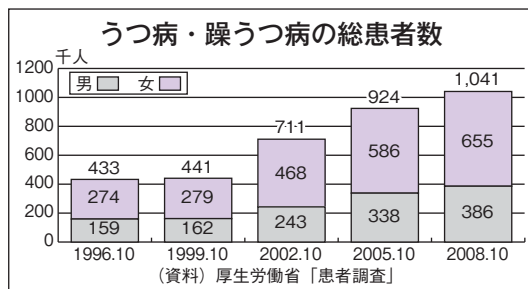


かの い み こ

菅野意美子 議員

質問 保険適用になった認知行動療法の普及に向けた取り組みは、及に向けた取り組みは、

町長 認知行動療法は医師が患者に対する治療として施術し、その結果、診療報酬として請求をするものであり、町としてこの療法に対して特別な取り組みを行う考えはありません。



質問 家庭訪問つき相談支援の状況はどうか。

町長 町は生後4ヶ月を迎えるまでの乳児がいるすべての家庭を保健師が訪問し、子育て支援に関する情報提供や相談を行っています。

今後も継続します

談に感じながら、母子の心身の状況や養育環境等の把握、及び助言などを行っており、今後も本事業については継続していく考えです。

家庭訪問つき相談支援の状況は

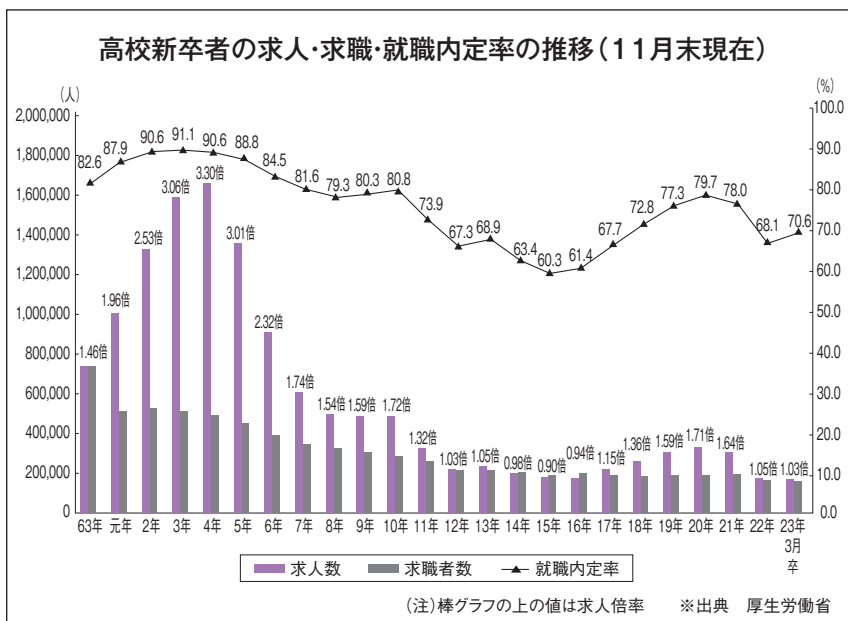
質問 必要性についてどのように認識しているのか。

教養 エコスクール化の必要性については十分に認識しています。

今後は幼稚園の園庭や校庭の芝生化をはじめ、屋上緑化及び壁面の緑化等、自然環境の整備に努め、計画的なエコ教育の推進に努めていく考えです。

計画的にエコ教育を推進します

エコスクールの認識は



質問 町としての取り組みは。

町長 町としては国における支援制度が拡充されていることから、ハローワークの情報提供や関係機関との連絡調整を行いながら、未就職新卒者への支援を行っているところです。また未就職者対策として、新規雇用の依頼のため町内外の企業を訪問して雇用先の確保にも努めています。

企業訪問による雇用先の確保に努めます

未就職新卒者への支援を

超過勤務手当縮減への取り組みは

実態を把握し、縮減に努めます



こん く み こ
昆 久美子 議員

質問

本年度から勤務時間が増え、超過勤務手当への影響は。

町長

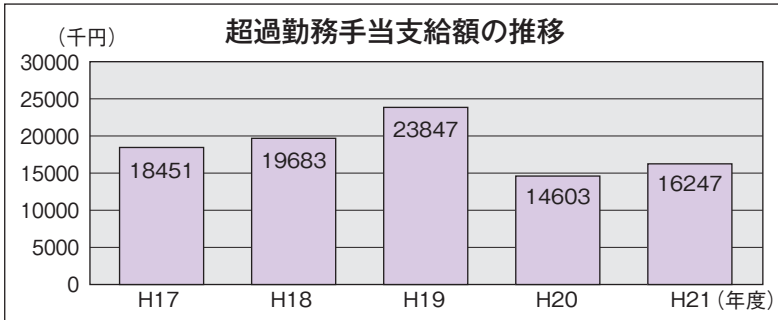
行政事務にかかるトータルコストを縮減していくことは大変重要であり、常に実態の把握、点検を行い縮減に努めているところです。

質問

職員の超過勤務手当が臨時職員の物件費に振り替わっていくことはないか。

町長

臨時職員はあくまでも事務補助であり、職員一人ひとりが努力を重ねることが大切であると考えます。



職員のまちづくり参画は進んでいるのか

地域活動への職員参加を推進します

質問

自治会を解散した宮赤・中丁地区で、担当職員や当局は課題解決のために努力したか。

町長

地域の方々と、自治会活動の再編に向けて協議を進めている状況です。

質問

運動会やコスキンの駐車場整理を外注したのは残念だ。慣れた職員の有志にボランティアで協力をお願いすることは出来なかったのか。

町長

毎年少なからず交通事故も発生している状況にあったことから、専門的な方々にお願ひすることにより参加者の安全性を高めることが目的でした。

「おじまふるさと交流館」は

社会教育施設です

質問

社会教育施設なのか娯楽施設なのか。

教育長

社会教育施設であると理解しています。



まちづくり座談会のようす

質問

ボランティアを要することは出来ないが、団体の運営や事業の継続に住民は涙ぐましい努力をしている。町長には職員の動機づけ意識づけをお願いしたいが

町長

職員が仕事を離れても地域活動にも積極的に参加していくような環境づくりを進めていきたいと考えています。

「人が元気、地域が元気、街が元気」を 実現する施策は何か

3者とも共に良くなる民営化を推進します



たか はし みち ひろ

高橋道弘 議員

質問 川俣光風園、すみよし保育園を民営化するにあたって、利用者やそこで働く人、自治体の3者が共に良くなる施策を考えないのか。



民営化で良くなるのか（すみよし保育園）

町長 川俣光風園、すみよし保育園とも、利用者やそこで働く人、自治体の3者が共に良くなる対策をしっかりと取りながら、民営化を進めていくことが大切だと認識しています。

質問 頑張っている人を支援するため、定住化対策事業に後継者奨励金制度を復活させる考えはないのか。

町長 ご質問の後継者奨励金制度については平成16年度以降取り組んでおりませんが、一生懸命頑張っている後継者の皆様に支援することは大変重要であり、町としてどのような支援策が効果があるのか、今後研究して対応していきたいと考えています。

頑張っている企業、団体、人への
支援の充実を

今後、研究し対応します



後継者不足が問題となっている商店街



跡地利用が望まれる旧川俣精練工場

町長の強いリーダーシップで 精練工場跡地の解放を

現状を見守る以外にありません



み うら こう いち

三浦浩一 議員

質問 貯水池の管理はどうなっているのか。

町長 危険防止のため貯水池に立ち入らないように看板を設置し、

地域住民の皆様や、特に隣接している川俣南小学校などへ注意を呼び掛けているところです。

質問 行啓碑と赤レンガの部分は保存し、

工場部分は卓球愛好会の方々のために利用すべきと思うがどうか。

町長 町としては現在のところ状況を見守る以外にありません。

質問 民間デイベロッパの動きはないのか。

町長 この1年間、民間デイベロッパの動きはありません。

質問 広瀬川の周辺改修もほぼ見通しがつ

いた今、河畔整備は必要であり、一体的に考えられないか。

町長 川俣精練跡地については現在のことろ見守る他になく、広瀬川河川改修に伴う川俣精練跡地との一体的な河畔整備については、現在のところ難しいと認識しています。

質問 被害が拡大している、カシノナガキ

クイムシの駆除、予防策は。

町長 早めの対応が大切であることから、監視等を強めながら、その対策を講じていく考えです。

監視を強化していきます

「ナラ枯れ」への対応は

図書館の早期開館に向けて

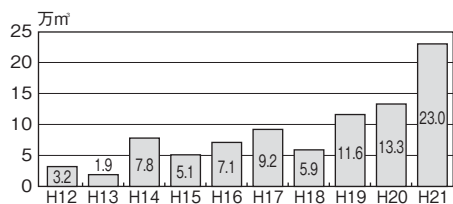
平成30年度に着手します

質問 第5次振興計画にもその必要性がう

たわれている図書館の整備充実のプロセスは。

教員長 平成27年度までに町立図書館基本構想をまとめ、平成30年度に図書館建設に着手したいと考えています。

全国のナラ枯れ被害量(被害材積)の推移



※出展「平成21年度森林病虫害被害量実績(林野庁)」

厚生常任委員会

厚生常任委員会は、10月5日～6日までの2日間、いわき市の障害者授産施設と茨城県日立市の火葬場建設について研修してきました。

福島県いわき市

NPO法人 ゴールデンハープ

NPO法人ゴールデンハープはいわき市に本拠を置く特定非営利活動法人で、さまざまなサービスを提供しています。

またノルウェー風のパンを中心としたパンの製造・販売を行う小規模作業所「フルクテン」を開設し、働きたい障害者に活動の場を提供しています。



鞍掛山斎場（日立市）

「フルクテン」では働いている障害者も一生懸命頑張っていました。指導員の方の熱意と努力は大変なものがありました。

茨城県日立市

日立市鞍掛山斎場

日立市は面積も広いためか、市町村ではめずらしく斎場を3箇所も運営しています。

その中の1つの鞍掛山斎場を視察してきました。鞍掛山斎場は火葬炉に煙などを発生しない環境にも配慮した最新式の設備を導入しています。

また建設場所については、人家もない所で問題はなく、住民に対する説明会も2度開催し理解が得られたとのことでした。

【参加者】

○議員
菅野意美子 委員長
高橋 道也 副委員長
斎藤 博美 委員
嶋原 利光 委員
高野善兵衛 副議長

○随員
高橋 良之 町民税務課長
高橋 清美 議会事務局

議会運営委員会

議会運営委員会は、11月29日～12月1日までの3日間、山梨県富士河口湖町と神奈川県大井町を訪問し、議会の活性化について研修してきました。

山梨県富士河口湖町

議会の情報公開について

富士河口湖町議会ではケーブルテレビを活用して本会議の様子を放送しており、多くの町民が関心を持って議会議中継を視聴しています。

議員報酬について

議員報酬は、山梨県内でもかなり低い金額となっています。

これは平成15年に河口湖町と勝山村、足和田村が合併して富士河口湖町が誕生した際に在任特例を適用し、多

くの議員が誕生したことから議会自ら議員報酬の引き下げを行い、それが現在まで続いているためです。

実際、議員の中には報酬の引き上げを望む声も多数あるようです。

神奈川県大井町

議会基本条例について

平成19年に「議会基本条例研究会」を立ち上げ、平成20年7月に解散するまで9回の研究会を開催し、調査・研究を重ね、平成20年9月定例会で、全会一致で議会基本条例の制定を可決しました。

大井町議会の場合、町長等に反問権を認めたことと、町の総合計画のうち基本構想について議会の議決事件としたことが特徴ですが、反問権については今まで行使されたことはないとのことでした。

議会改革について

平成21年に「議会改革研究会」を立ち上げ、議会基本条例を具体化する取り組みや、議会全般にわたる改革を進めるための調査・検討を行っています。この中で議会報告会を年1回以上開催することや、町内の団体等が希望する場合に懇談会を開催することを決定しています。

【参加者】

○議員
石河 清 委員長
斎藤 博美 副委員長
遠藤 宗弘 委員
三浦 浩一 委員
菅野意美子 委員
菅野 清一 委員
佐藤喜三郎 議長
高野善兵衛 副議長

○随員
橋本 文雄 議会事務局

議会改革等に関する 調査特別委員会報告



第10回議会改革等に関する調査特別委員会(12月8日開催)

調査特別委員会を設置し、町民の皆様のさまざまな意見や要望に対し、行政執行の監視機能を高め、本町にとつて最も効果的、効果的な議会運営や議員定数及び報酬等の在り方の調査研究を重ねてきた結果を報告する。

議会改革等に関する調査特別委員会は、6月定例会で設置され、以降11回に及ぶ調査活動を終え、昨年12月定例会に次のとおり報告書を出しました。

なお、本報告書については、議長のもとで進めていくことになります。

はじめに

議会が町民の代表機関として、地域における民主主義の発展と町民福祉の向上のために果たすべき役割は、将来に向けてますます大きくなること

が明白である。我々はそれを踏まえ、自己研さんと資質の向上に努め、町民に信頼され、存在感のある豊かな議会とするため努力しなければならぬ。

今般、議会改革等に関

これまでの議会改革に関する取り組みについて

(1)定数について

年	定数	地方自治法による法定数及び上限
昭和30年～昭和46年	30人	30人
昭和46年～58年	30人	30人
昭和58年～平成7年	24人	26人
平成7年～15年	22人	26人
平成15年～19年	20人	22人
平成19年～	16人	22人

(2)議員報酬について

(単位：円)

年月日	議長	副議長	議員
平成元年4月	223,000	186,000	166,000
平成2年4月	235,000	196,000	175,000
平成3年4月	263,000	214,000	192,000
平成4年4月	286,000	226,000	203,000
平成5年4月	309,000	237,000	213,000
平成7月10月	338,000	254,000	228,000

※平成7年以降は変更なし

調査結果

(1)議員定数について

本町の議員定数は現在16人であるが条例定数の上限値22人を6人下回っている。議員定数のあり方については、これまでも人口割、地域割、有権者数割りなど様々な角度から議論してきたが、平成15年改選時に22人から20人、平成19年の改選時には20人から16人と減

員してきた経緯があることから、これ以上減らせば住民の付託にこたえられるのかという意見も出た。議論のなかでは人口減に伴い15人という案も出たが、奇数だと可否同数の場合、常に議長裁定という結論を招くのは好ましくないこと、また、地方議会が三元代表制という制度仕組みのうえで予算提案権、行政執行権を持つ首長と同等の権利を持つ議会として、議員数

(2)議員報酬について

の減少は議会の力の弱体化を招くことになり、議会制民主主義を守れなくなる恐れがあるとの結論に達し、現状の定数16人を維持することに決定した。

地方議員の報酬については、都道府県議会議員、市議会議員については生活保障を原則とした考えが定着しており、町村議会議員についてはその原

則が曖昧であった。

地方分権の時代を迎え、

町村議会の果たすべき役割は検証機能から政策提言、住民への説明責任等大きく増大し、議員に求められる能力も専門性はもとより行政全般に対する広い見識が求められている一方、現代社会の多様な価値観を行政に反映させるために、女性や青年等社会の各層を代表する議員の誕生も求められている。

このような町議会に求められている責務を達成するためには、町議会議員の報酬を生活給と明確に位置づけ、議員の身分と生活を保障する制度にすべきとの結論に達した。

(3)委員会について

①常任委員会

多様化する行政需要の中で、議会として住民の付託に的確に応えるためには、現行の専門性を持つ3つの常任委員会を維持確保することが必要である。

②予算・決算特別委員会
当初予算及び決算については、全議員が住民への説明責任を果たすために、所属常任委員会の枠にとらわれず、広範に討論を深め、町政の課題に対応した予算及び決算の検証と政策提言を実現すべく設置するものとする。

なお、その際は予算

の積算資料及び決算の証拠書類の提示を求めるものとする。

(4)所管事務調査等について

町民の負託にこたえる議会を形成するためには、所管事務調査や議員研修を充実し、他市町村の先進的な事例や事業を研修することにより、本町議会及び議員個々の資質の向上を図る必要がある。

よって、所管事務調査等にあたっては、町の旅費規程を遵守し、議員1人当たり年間12万円の旅費を確保し、調査の充実を図る必要がある。

(5)議会基本条例について

議員は常に町民の信頼と期待の中で活動することが求められる。

地方分権と地域主権が進展する中、二元代表制の一翼を担う議会の役割はますます重要となる。

議会は持てる権能を馳せ、自治体事務の立案、決定、執行、評価における論点及び争点を町民に明らかにすること、また、町民の声を町政に反映させる責務を有している。

そのために、議会、議員活動の最高規範である「議会基本条例」を制定する必要がある。

(6)インターネットを活用した議会中継配信システムについて

近年、議会基本条例の制定の動きが全国的に広がっている。これはいかに議会の情報公開が大切であるかの表れであり、その1つの手法として、インターネットを活用し議会中継を配信している

議会が増えている。

本町においても町内全域でブロードバンド環境の整備が進んでおり、議会中継を配信できる環境が整っていることから、町民に対し情報を公開し、今まで以上に開かれた議会を目指すためにも、インターネットを活用した議会中継を実施すべきである。

(7)政務調査費について

政務調査費は議員の調査研究に資するため必要な経費の一部を交付するものであり、積極的・効果的な議会活動を行うためには必要ともいえる金銭的給付であることから町村レベルでも導入している自治体もある。

本町においても議会の活性化を図り、更に活発な議会活動を行うためには政務調査費の導入は有効な手段であり、実現に向け検討を始めるべきである。

なお、その際は議員1人当たり月額1万円が妥当であり、実施にあたって

は適宜情報を町民に公開すべきである。

(8)その他の議会活性化の方策

①一般質問における当局の答弁書について、当該議員に質問当日の朝配付し、一般質問の充実を図るべきである。

②中央公民館や各地区公民館に議会の日程等のお知らせを配付し、議会の情報公開を推進すべきである。

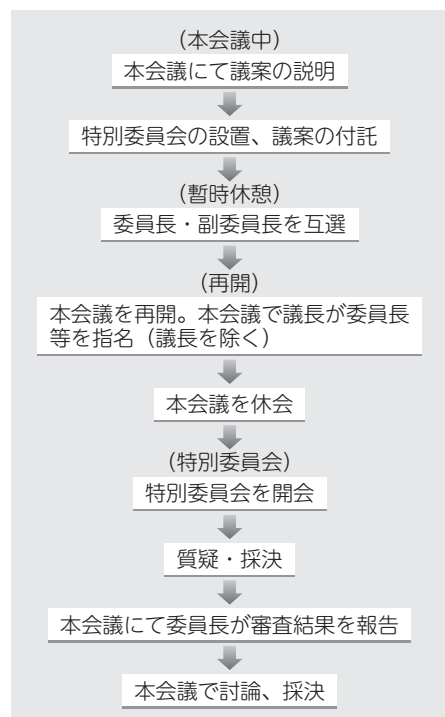
③選挙の公官化を推進すべきである。

④一般質問時に残時間表示計を導入すべきである。

委員会の構成

委員長	高野善兵衛
副委員長	石河 清
委員	遠藤 宗弘
	三浦 浩一
	菅野意美子
	斎藤 博美
	菅野 清一
	高橋 道也
	高橋真一郎
	高橋 道弘

予算・決算特別委員会審議の流れ(例)



町民の声

私のひと言



地域に密着した 議会を

山木屋
廣野 隆俊さん

最近、私も議会に関心を持つようになりました。

それというのも、地域からの課題が出たとき、幾度か、議会傍聴をしました。以前は、議会側の質問・町当局の答弁と、さりげなく議会だよりを読んでいました。

幾度か、議会傍聴をしているうちに議員各位が真剣に議論している姿を見ると、国会並と感じ、私たち町民は心強く感じております。

先般、福波線のバスの川俣～浪江間の廃止により、自治体バスの運行、それと同じ頃、デマントタクシーの運行についても議会・町当局に速やかな対応をして頂き感謝しております。お陰様で今、地域の方々が安心して利用しております。

昨今、ねじれ国会など、内外共にスムーズに流れていないようですが、今年は兎年なので、唄にあるように十五夜お月さん見て跳ねると言うように、十五夜の月のように丸く治まる事を願いたいものです。



議会を 傍聴して

鉄炮町
秋元 清子さん

いつも議会を傍聴させて頂き、ありがとうございます。

親の介護の合間、時間をつくり傍聴しております。

議会中、質疑・応答、皆様が真剣に取り組んでおられる様子が目に耳に入り、町を知る大切な時間を頂いております。

その中で、質疑に対し明確な回答がなされなかったり、慌てる様子が数多くあるように感じます。

また、質疑・応答の際、以前よりマイクの性能が良くなったと聞いておりましたが、当局の答弁の際、声が小さいのか私も含め、傍聴されている方々からも聞き取れないとの声があります。元気な声で言葉もはっきりとお願いします。

これからの議会の果たす役割は、ますます重要になってきておりますので、議員皆様におかれましては広く見識を深め、より良い町政となるよう討議を深めてくださいますようお願いいたします。

編集後記

名古屋市や鹿児島県阿久根市では、首長の解職や議会のリコールなどが大きく取り上げられ話題となっています。しかしその中身（法律や制度）については殆ど説明されていません。議会や首長にはこうした厳しい目を向けられる一方で、経費削減や行財政の改革という言葉の下に次々と行政の民営化が進められています。

本来、自治体とは役所とは「誰のために、何をすべきと」ころなのか、今、このことが大きく問われています。

わが町も12月議会においては、川俣光風園の民営化の議案が否決されました。少子化や高齢化が進む中、身近な行政サービスの需要は高まる一方であります。

「官から民」へという構造改革路線の継承のみで、町民の期待に本来に答えることができるのでしょうか。「何故役場が必要なのか」「役場は誰のために、何のためにあるのか」皆さん、一緒に考えてみましょう。（菅野清一）

◇議会だより編集委員

議長 佐藤 喜三郎
副議長 高野 善兵衛
委員長 高野 博美
委員 菅野 清一
委員 橋道 弘